

【第 130 回対策本部会議】 4 月 19 日

健康福祉部長／今日の感染者数は、過去最多の 681 人。1 週間の感染者数は、2 週続けて前週比約 1.2 倍と増加傾向にある。

入院者 188 人、病床使用率は 33.5%、うち中等症者用の病床使用率が 10.1%、重症者はいない。ホテル療養者 299 人、ホテル使用率は 48.6%、自宅療養者が 3,309 人。

感染者は 20 代以下が 5 割、40 代以下では 8 割と若い人が多い。しかし、全体数が増えているため、高齢者の感染も増え、病床使用率も増えてきた。

入院者数と陽性者数の状況（4 月 17 日時点）

70 代以上の陽性者は全体の約 7%と少ないが、入院者は全体の 7 割を占めている。また、陽性者に占める入院者数の割合である入院率は約 4 割。それに対し、20 代以下の陽性者は、全体の約 5 割だが入院率は 0.8%。高齢者の感染に注意しないといけない。

デルタ株とオミクロン株の比較（佐賀県）

デルタ株が中心だった昨年の夏から秋にかけて、死者数 6 人、重症者数 4 人だった。亡くなった人の平均年齢は 67.8 歳、最年少は 20～30 代。

今年の 1 月以降のオミクロン株で亡くなった人は 65 人、平均年齢 87.3 歳、最年少は 50～60 代。

重症者は、デルタ株が平均年齢 51.8 歳、最年少 30 代。オミクロン株は平均年齢 76.8 歳、最年少 60 代。オミクロン株は、死者、重症者共に年齢層が高い。

重症化リスクの高い高齢者、基礎疾患のある人に感染が広がらないよう対策を講じる。県民の皆様は、自分が感染した場合、家族や医療機関に負担がかかることに留意し、基本的な感染対策に努めるようお願いする。

新型コロナウイルス感染症と診断された方へ

医療統括監／自宅療養支援センターも担当している。オミクロン株に感染した場合、軽症でも守るべき自宅療養の心構えをお伝えする。

- ・可能な範囲で部屋を分ける
- ・家の中でもマスクを着用
- ・こまめな手洗いと手で触れる部分を消毒
- ・窓を開けて換気

保健所は、高齢者や基礎疾患のある人から順に連絡をする。これらの点に留意し、落ち着いて行動してほしい。

知事／陽性者が多いので、保健所は多忙を極めている。連絡がないとの声を聞くが、基本的に自宅で過ごしてもらうということ。

坂本副知事／保健所から連絡がないからといって保健所に問い合わせても、先ほどの自宅療養の過ごし方と同じ指導がある。軽症や自宅療養の人は、自分自身で注意して過ごしてほしい。

知事／2年間、新型コロナに対応してきたが、オミクロン株は全く違うウイルスのようだ。この1週間の感染者の半分は20代以下の若者。ほぼ入院せず、自宅待機からそのまま社会生活に復帰することが多い。また、大半が児童施設や学校で感染する。

現在、70代以上の感染者の割合は1割以下。しかし、全体数が増えると、高齢者の感染数も増え、病床を圧迫していく。病床使用率が33%台の今、先を見据えて対策をしなければいけない。

昨日、オミクロン株の現状について、「プロジェクトM」で専門家を交え意見交換した。ウイルスと人間との共生が始まっている。当面、感染者はなくなるという見解が示された。これは、私たちの日々の分析と一致している。

社会活動では、ウイルスと共生する意識で対応せざるを得ない。医療提供は、重症化リスクの高い高齢者に重点化する。

1月以降、オミクロン株で65人が亡くなられた。平均年齢は87.3歳。70代以上の入院率は約4割。20代以下の入院率は1%未満。この現実から、高齢者に重点化した取り組みを、次の3点の方針で進めていく。

1. 高齢者施設の感染対策を強化

チェックリスト化で感染対策を徹底し、施設内感染を防止する。

2. 地域単位でコロナ対応ができるよう医療体制を拡充

これからは、地域単位での対応が必要。高齢者施設・自宅療養者の健康管理を地域の医療機関で対応できるよう医療体制を拡充する。

3. 4回目のワクチン接種を推奨

高齢者は入院率が高くても、ワクチンを接種している人が多いため、感染者数が増えず重症化リスクも抑えられている。病床使用率は高齢者感染の影響が大きい。国での議論が進められており、県としても4回目のワクチン接種を推奨していく。

以上はオミクロン株への対応。今後、新たな変異ウイルスが現れたときは、それに応じてオペレーションや戦略を変更する。

高齢者対応に重点化することが、通常診療、救急診療を守るために必要だ。オミクロン株では、若い世代に深刻な問題はほとんど起きていない。もちろん、発熱など症状がひどくなった場合は、しっかり対応する。

コロナ対応が続く医療現場をはじめ、介護、福祉、保育所、教育現場、ワクチン現場、保健所の方々に感謝申し上げます。県民の皆さんの基本的な感染症対策の徹底にも御礼申し上げます。

引き続き、誹謗中傷は行わないようにお願いする。佐賀らしい方法で、オミクロン対策に取り組みたい。